



<第二号>

No.008
令和7年11月吉日



<異動職員のご挨拶>

病棟から異動して参りました菊間早苗です。私は甘い物、特にアイスクリームが大好きで、食後にはかせません。早く利用者の皆様が快適と感じていただける介助方法を覚えて、皆様が毎日笑顔で過ごせるように努めていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



「アロハ〜♪」の明るい掛け声とともに、JA富士伊豆女性部あいら伊豆地区本部ボランティアの皆さまによるフラダンスの慰問が始まりました。

色とりどりの衣装と優雅な手の動き、そして笑顔いっぱいの踊りに、会場は一瞬で南国のような雰囲気になりました。

音楽に合わせて自然と手拍子をする方や、一緒に体を揺らして楽しむ方の姿も見られ、会場全体が温かい笑顔で満たされました。

続いて披露されたのは、オカリナの演奏。

やさしく澄んだ音色が静かに響き渡ると、先ほどまでの賑やかな空気が一転して穏やかに。懐かしい童謡や季節の曲が流れるたびに、利用者の皆さんは口ずさみながら聴き入り、心安らぐひとときを過ごされました。音楽を通して心がつながる、そんな穏やかで豊かな時間となりました。

ALOHA



2階ではゲームで職員の顔を幼くしたり年を取らせたり、性別を変えた画像を使ったクイズを行い、景品もあって大いに盛り上がりました。食事は大人のお子様ランチで、エビフライや揚げ物、スパゲッティ、ケーキやゼリーのデザートなどが並び、参加者からはとても美味しかったと好評でした。

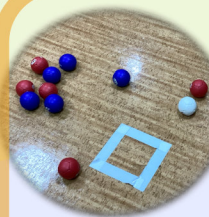
3階の夏祭りは本来、踊りやグループ制作した花火ポスターの発表などを行う予定でしたが、感染症対策強化のため当日は豪華な昼食のみの提供となりました。それでもカラフルなそうめんやフランクフルト、プリンアラモードなど普段と違う食事に利用者様は喜び、「夏らしくてよかった」「美味しかった」といった声が多く聞かれました。9月には復活祭として練習した踊りも披露され、さらに趣味でミサンガ作りをしている利用者様が全員に手作りミサンガを贈り、思い出が詰まった贈り物に皆が笑顔を見せていました。

9月



あみだくじ

9月の行事で午後のお茶の時間に「あみだくじ大会」を行いました。利用者の皆さんは結果が出るまでワクワク！当たりは秋をモチーフにした練り切りで、外れても好きな和菓子を選ぶ楽しさがありました。短い時間でしたが笑顔溢れるひとときとなりました。



ボッチャ

10月の行事「ボッチャ大会」を開催しました。ナイスプレイがたくさん出て、参加者みんなで盛り上がりしました。投げられないからと参加を悩んでいた利用者様には補助具を使ってもらい「楽しかった」と喜んでもらえました。



10月

外出支援

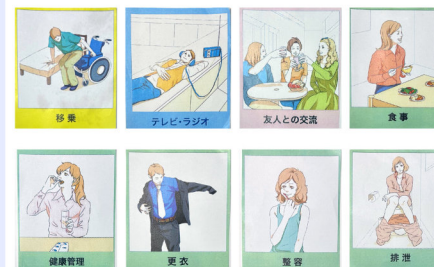


年2回の外出支援。外出先のマップを作成しました。三島や沼津のショッピングモール、下田の海中水族館、稲取のアニマルキングダム、伊東市内ならアピタやカインズ、はま寿司などなど。マップを見ながら行き先を選んでもらい、楽しく出かける事が出来ました。



利用者様の意思の確認は？

サービス管理責任者の増田です。2階の利用者様の担当をしています。利用者の皆様がいずみでの生活の中で「これをやってみたい」「こんな風にすごしたい」など思いを形にできるよう支援を行っています。その中で皆様の思いを聞くために面談をおこなっています。写真は面談の中で使用しているイラストです。イラストはテーマごとに「身体の事」「身の回りの事」「趣味活動」「施設外の活動」「他者との交流」に分かれています。面談の中で興味があるイラストを使ってお話を伺っていくと「こんなことに興味がある」「昔は写真が趣味で長野県まで撮影にいった」「図書館に行きたい」「お墓参りに行きたい」など、「利用者様の思い」が引き出せるような取り組みを行っています。



医務室より

朝晩の冷え込みが厳しくなり、体調を崩しやすい季節となりました。伊東の丘では感染対策の見直しと徹底を再度行いました。インフルエンザや風邪が流行する時期です。手洗い・うがいを徹底し、また室内外の温度差が大きくなりますので、着る物と室温調整を行いながら体調管理に注意しています。



苦情報告

『該当1名職員の態度、話題、接し方が馬鹿にしている』苦情としていただきました。苦情対応に則り聴き取りなどを実施。該当職員の談笑内での発言に行き過ぎた内容の事実あり、利用者とのコミュニケーション方法や話題内容の改善を行う事で解決となりました。伊東の丘HPにて公開されています。